

平成 26 年度 成人 OT 教育計画

平成 26 年度 成人 OT 勉強会の目的

日々の臨床の振り返りや自己研鑽を行うことで日々の臨床に活かす。

勉強会の実施内容について

- ①症例検討会
- ②拡大勉強会
- ③新人症例検討会

①症例検討会

(目的)

- ・各自の日々の臨床を振り返り、考察する。
- ・難渋している症例、良かった症例などについて、成人 OT 全体で検討する。

(方法)

- ・勉強会係が作成したフォーマットを基にレジュメを作成する。
- ・実施時間は、夕方（17:15～）から 30 分～1 時間程度にて行う。
- ・レジュメは、発表する前週の成人 OT ミーティング時に配布する。
- ・司会進行は、勉強会係が行い、活発な意見交換ができるように配慮する。

②拡大勉強会

(目的)

- ・成人 OT 全体で知識を共有し、また自己研鑽を促す。

(方法)

- ・発表は、個人またはグループで行う。
- ・発表内容は、研修会の伝達講習や自分で調べたいことをまとめる。
- ・実施時間は、夕方（17:30～）から 1～1.5 時間程度にて行う。
- ・司会進行は、勉強会係が行い、活発な意見交換ができるように配慮する。
- ・発表した資料は、平成 26 年度勉強会のファイルに綴じる。

(発表内容・メンバーについて)

個人での発表：藤田（伝達講習）

北森（失語について）

金星（脳活性化リハビリテーションについて）

グループでの発表：田中、松本（記憶と情動の脳科学について）
米田、西田、小林（難病について）
綾木、坂手（認知運動療法について）
吉川、林、吉良（Fugl-Meyer test について）

③新人症例検討会

（目的）

- ・新人スタッフ（経験年数 1～2 年目）が症例検討の仕方を学ぶ。
- ・新人スタッフの考察・介入を先輩スタッフが教育する。
- ・新人スタッフが困っている症例に対して助言をもらう。

（方法）

- ・新人スタッフ（経験年数 1 年目）は、年間 2 回実施する。
1 回目：7～8 月頃（症例を初めて担当し始めたころ）、2 回目 11～12 月頃
どの症例を発表するかはプリセプターと相談の上、決定する。
発表日時は、2 週間程度前の成人 OT ミーティングにて、候補日の中から決定する。できるだけ参加者の多い日に設定する。
- ・新人スタッフ（経験年数 2 年目）は、年間 1～2 回実施する。 ※今年度は対象者なし。
相談したい症例が出てきた時に、実施する。
発表日時は、2 週間程度前の成人 OT ミーティングにて、候補日の中から決定する。できるだけ参加者の多い日に設定する。
- ・レジюмеは発表 1 週間前にプリセプターに提出する。プリセプターは、レジюмеの書き方や検討内容が絞れているかを確認し、必要に応じて修正を促す。
成人スタッフ全体へのレジюмеの配布は、発表 2、3 日前までに行う。
- ・実施時間は、夕方（17:30～）から 1～1.5 時間程度にて行う。
- ・発表時には、レジюме以外に、パワーポイントや写真、映像を活用することで、より症例の全体像を明確にすることを心がける。
- ・司会進行は、勉強会係が行い、活発な質疑応答ができるように配慮する。